私立

藤田保健衛生大学

（平成 30 年 10 月に藤田医科大学に変更予定）

問合せ先　医学部入試係
〒470-1192　愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪１-98
☎(0562)93-2635　http://www.fujita-hu.ac.jp/

教育目標＆特色

建学の理念である「獨創一理」は、独創的な学究精神を堅持して真理を探究し、おおらかな誇りを持ち、感激性に富む個性豊かな人格を形成することを目指すもので、患者中心のチーム医療の担い手として、リサーチマインドを有する人間性豊かな良き臨床医の育成を目指している。学生一人ひとりに対して担当の指導教員を配し、学生生活の悩みや相談にきめ細かく対応する指導教員制度のほか、卒後の初期研修２年および後期研修１年も、引き続いて５・６年次の担当教授がサポートする里親制度も導入している。平成 30 年 10 月に**藤田医科大学**へ校名変更する予定だ。

カリキュラムの特色

医学部では、「リサーチマインドの涵養」、「グローバル化」、「医療、介護、最先端医療、地域医療を担う新医療人」を基軸に、カリキュラム改革と医学教育の刷新に取り組んでいる。１年次は医師としての基礎を築くべく、医学教育入門、生命倫理学、人の行動と心理などを通じて医学の導入部分を学ぶ。また、医師になるためのモチベーションを高め、医療人としての自覚形成を促すため、入学直後に医療現場を見学・体験できる早期臨床体験(Early Clinical Exposure)を実施している。２年次は基礎医学の講義が本格化し、解剖学、病理学といった人体構造学、生理学、生化学などの人体機能学、微生物学、ウイルス・寄生虫学をはじめとする生体防御学など、医師としての力量に関わる分野を学ぶ。基礎をしっかり身につけることで、３年次からの学習の理解度をより高いものにしてくれる。３年次には基礎医学の学習から臨床医学系の学びへと歩みを進める。医療面接の体験を行う基本的診療技能をはじめ、血液系、神経系、運動器系、呼吸器系から腫瘍学、成長・発達・小児系まで、幅広い専門領域を学習し、臨床への対応能力を徐々に身につけていく。初診患者の診察に沿った症例学習を行う少人数制の問題解決型学習 PBL(Problem Based Learning)もスタートする。４年次は臨床医学の知識を深めると同時に、基本的な手技を身につけることを学ぶ１年となる。総合医学では、これまで蓄積した知識を整理しながら統合し、臨床実習に向けた準備を行う。また、３年次から引き続き行われる PBL は、より実践的な内容を通じて一歩踏み込んだ学習になる。５年次は教育病院である藤田保健衛生大学病院、坂文種報徳會病院、七栗サナトリウムを中心に診療参加型の臨床実習(クリニカル・クラークシップ)を行う。指導教授のもと、医療チームの一員として実際に患者と接しながら、この４年間で培ってきた知識や技術を定着化させ、さらに臨床に必要なレベルにまで高めていく。６年次は、これまでの集大成として、すべての知識や技術の再点検を行う１年。５年次同様、臨床実習を行いながら実践能力を高めていくと同時に、各々の医師としてのビジョンを実現させるべく海外実習などの機会も設けている。後半には最後の総まとめを行い、国家試験受験に備える。

大学ＤＡＴＡ

◆**沿革**　昭和 46 年に医学部を設置した。
◆学部所在地　問合せ先に同じ。アクセス名鉄前後駅から藤田保健衛生大学病院行または藤田保健衛生大学病院経由赤池行バスで約 15 分、名古屋保健衛生大学病院下車。
◆学部学科・定員　医学部＝医学科 120 名
◆大学院　医学研究科＝形態系専攻８名、機能系専攻８名、保健衛生系専攻８名、分子医学系専攻８名、内科系専攻 18 名、外科系専攻 18 名
◆おもな付属施設　大学病院、坂文種報徳會病院、七栗サナトリウム、総合医学研究所、中部国際空港診療所、総合救命救急センター、疾患モデル教育研究センターなど。
◆**学寮**　設置していない。

参考資料

●医師国家試験合格率

区分	全　体				新　卒				既　卒			
	志願者	受験者	合格者	合格率	志願者	受験者	合格者	合格率	志願者	受験者	合格者	合格率
2017	127	109	97	89.0%	120	102	93	91.2%	7	7	4	57.1%
2016	117	109	103	94.5%	110	100	98	95.1%	7	6	5	83.3%
2015	127	114	107	93.9%	123	110	106	96.4%	4	4	1	25.0%

●学校納付金(2018 年度)

区　分	入学手続時	初年度総額	２年次以降
入学金	1,500,000 円	1,500,000 円	-
授業料	2,500,000 円	2,500,000 円	2,500,000 円
実験実習費	500,000 円	500,000 円	1,000,000 円
教育充実費	1,800,000 円	1,800,000 円	1,200,000 円
諸会費	296,000 円	296,000 円	86,000 円
合　計	6,596,000 円	6,596,000 円	4,786,000 円
６年間総計	30,526,000 円		

＊入学後に任意の寄付金を募集する。

●成績優秀者奨学金制度

一般後期とセンター利用後期の成績優秀な正規合格者 10 名に対して 1,500,000 円を２年間貸与する。卒業後、本学病院または指定した医療機関で一定期間医療業務に就いた場合は返還を免除する。

●奨学金制度

日本学生支援機構奨学金のほかに、藤田学園奨学金(貸与)、同窓会奨学金(貸与)や、民間・地方公共団体の奨学金などがある。

2018 年度入試要項

募集人員

区分	一般前期	一般後期	セ試前期	セ試後期	推薦	ＡＯ	編入学
医学科	約 90	約５	約 10	約５	10 程度		－

＊一般前期には愛知県地域枠 10 名を含む。愛知県内の高校あるいは本人または保護者が県内居住で、将来愛知県の地域医療に貢献できることを確約できる者が対象。

試験日程

試験区分		出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
一般前期	１次試験	12 月4日～1月 12 日	1月 20 日	1月 27 日	
	２次試験		1月 30 日か 31 日	２月３日	２月９日
一般後期	１次試験	12 月4日～2月 24 日	３月４日	３月 10 日	
	２次試験		３月 15 日	３月 17 日	３月 23 日
ｾﾝﾀｰ前期	ｾﾝﾀｰ試験	９月 26 日～10 月６日	1月 13 日･14 日	２月７日	
	２次試験	12 月4日～1月 12 日	２月 13 日	２月 19 日	２月 26 日
ｾﾝﾀｰ後期	ｾﾝﾀｰ試験	９月 26 日～10 月６日	1月 13 日･14 日	３月 10 日	
	２次試験	12 月4日～2月 24 日	３月 15 日	３月 17 日	３月 23 日
AO 入試	１次試験	11 月1日～11 月 16 日	11 月 19 日	11 月 24 日	
	２次試験		12 月2日	12 月８日	12 月 14 日
推薦入試		11 月1日～11 月 16 日	11 月 19 日	11 月 24 日	12 月1日

＊一般の２次試験はいずれか希望する１日。

＊ＡＯ入試の事前エントリー期間は８月５日～９月 11 日。

＊学費２段階納入の２次手続締切日は一般・センター前期３月９日、センター後期３月 29 日。

＊入学辞退者の学費返還申出期限は３月 31 日。

＊２次試験合格発表時に補欠者を発表し、欠員が生じた場合は順次補欠合格者を発表する。

一般入試

試験区分	教科	科目(→は選択科目数)	配点	時間
１次試験	数　学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ(列べ)。	200	100
	理　科	物基・物、化基・化、生基・生→２。	200	120
	外国語	コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ。	200	90
２次試験	面　接	個人面接・MMI。	100	-

＊面接は提出書類と合わせて点数化する。

センター利用入試

試験区分	教科	科目(→は選択科目数)	配点	時間
ｾﾝﾀｰ試験	国　語	国。	100	80
	地歴・公民	世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ、現社、倫、政経、倫政経→１。	50	60
	数　学	数Ⅰ・数Ａ、数Ⅱ・数Ｂの計２。	250	各 60
	理　科	物、化、生→２。	250	各 60
	外国語	英(リスニングを含む)。	250	80
２次試験	面　接	個人面接・MMI。	100	-

＊面接は提出書類と合わせて点数化する。

推薦入試

①**推薦条件**＝全日制普通科で、数Ⅲと、物理、化学、生物のうち２科目以上を履修した全体の評定平均値が 3.8 以上かつ数学・理科・外国語がそれぞれ 4.0 以上の現役。②選考方法＝書類審査・学習能力適性検査・面接によって選考する。<学習能力適性検査>　◇数学＝数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ(列べ)。◇外国語＝コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ。◇小論文。

ＡＯ入試(ふじた未来枠)

①出願要件＝全日制普通科の現役・１浪・２浪で、本学の教育、研究、臨床の分野で貢献する強い意志を有し、卒業後に本学または関連病院で臨床研修(初期・後期)の５年間勤務することを確約できる者。オープンキャンパスのＡＯ入試説明会などに参加するなどして、エントリーシートを９月 11 日までに送付することが必要。②選考方法＝学習能力検査の合格者に課題・面接を課し、書類審査と合わせて総合的に判定する。<学習能力適性検査>　◇数学＝数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ(列べ)。◇外国語＝コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ。論述は英語・数学の論述問題。

＊合否判定　一般は１次の合格者に２次を課す。センター利用はセンター試験の合格者に２次を課す。いずれも学科試験は総合点で選考するが、面接の結果、医師としての適性を欠くと判断した場合は学科試験の点数に関わらず不合格とすることがある。

＊試験場　一般前期＝１次は名古屋(愛知県産業労働センター　ウインクあいち)・東京(TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター)・大阪(新梅田研修センター)、２次は本学。一般後期＝名古屋(TKP ガーデンシティ PREMIUM 名古屋新幹線口)・東京(五反田 TOC ビル)、２次は本学。センター利用＝２次は本学。推薦＝本学。AO＝本学または名古屋市内の会場。

＊受験料　一般 60,000 円、センター利用 25,000 円、推薦 60,000 円、ＡＯ60,000 円

入試のポイント

来春の試験日は、一般前期・地域枠の１次は重複校がなく、２次は 30 日に受験すると聖マリアンナ医科大１次のほか相手校の受験日によって金沢医科大２次と重複、31 日に受験すると東邦大１次と重複、後期の１次は埼玉医科大セ試利用前期２次と重複、２次は重複校がない。セ試利用前期の２次は久留米大一般２次・地域枠２次と重複。セ試利用後期の２次は重複校がない。

入試科目は一般入試の１次が数学・理科・外国語の３教科、２次は面接、センター利用入試のセンター試験が国語・数学・理科・外国語の４教科、２次は面接。学科試験は総合点で選考するが、基準点に満たない科目があると不合格になる。一般入試の１次は前期が名古屋・東京・大阪、後期が名古屋・東京に試験場を設けているが、東京会場・大阪会場は収容定員を超えた時点で登録ができなくなり、名古屋会場は収容定員を超えた場合に限り本学での受験となる。

2017 年度入試DATA

●入学者選抜実施状況

区分	募集人員	志願者	受験者	1次合格	2次受験	正規合格	補欠者	補欠合格	合格者	競争率	入学者
一般	90	2,064	1,985	502	*	258	*	35	293	6.8	120
セ試前期	10	635	633	113	*	10	*	22	32	19.8	
セ試後期	10	74	74	18	*	9	*	0	9	8.2	
推薦	10	23	23	-	-	11	-	-	11	2.1	

＊補欠者は非公表。

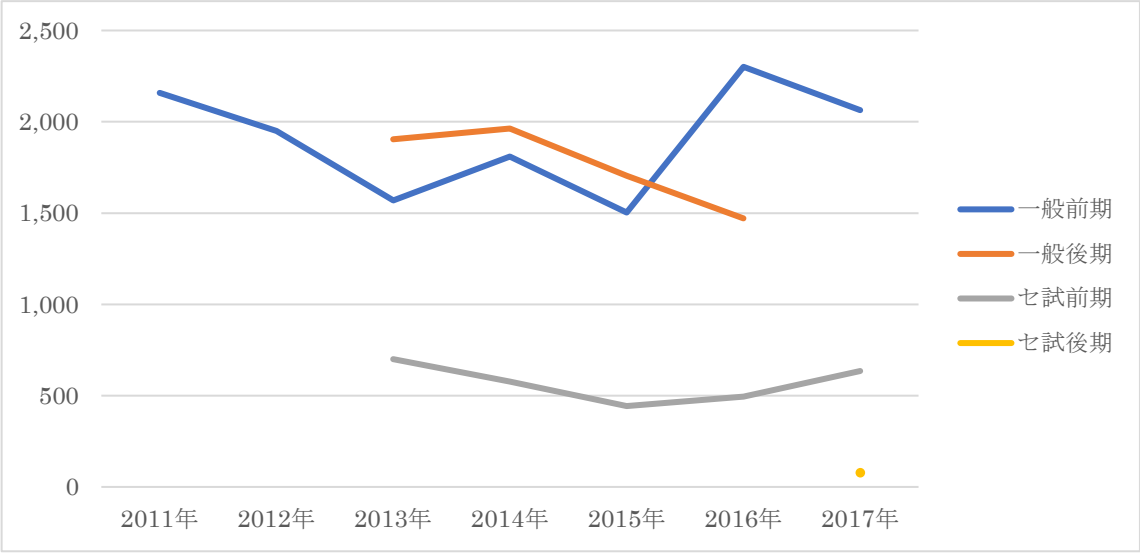
【合格者の成績】

カッコ内は 2016 年度。

区分	配点	最高点	最低点	平均点
一般	600(600)	506.0(517.0)	335.0(325.0)	377.4(386.8)
セ試前期	700(700)	654.6(659.4)	607.0(610.4)	624.3(625.5)
セ試後期	900(－)	818.2(－)	784.6(－)	798.2(－)

＊入学者の現浪別内訳　現役 29 人、１浪 51 人、２浪 28 人、３浪以上 12 人。
＊入学者の男女別内訳　男子 67 人、女子 53 人。
＊入学者の出身地別内訳　愛知 54 人、大阪９人、岐阜８人、東京７人、静岡・京都各５人、千葉・神奈川・長野・愛媛各３人、三重・兵庫・奈良各２人、北海道・茨城・栃木・埼玉・新潟・富山・石川・山梨・岡山・広島・福岡・長崎・熊本・鹿児島各１人。

【志願者数の推移】



●小論文の内容

推薦入試で課す。今春は木下是男著『理科系の作文技術』の抜粋が提示され、「著者は理科系の作文技術に重要なことは何であると述べているのか」「あなたが作文する場合、どのようなことに最も注意して書きますか」「藤田保健衛生大学医学部にあなたをぜひとも入学させたいと思わせる理由を述べた自己紹介文を書いてください」という内容だった。

●面接の内容

一般入試・センター利用入試・推薦入試とも実施する。個人面接で、MMI(特定のテーマについて面接官と１対１で話し合う形式の面接)も導入している。１回５分で、MMI２回、一般２回の計４回行う。MMI は提示された資料

を読んで、自分ならどうするか答える。一般は事前に書いたアンケートを基に行われ、志望の理由、なぜ医師を目指したか、将来専攻したい診療科について、などが聞かれることが多い。